

## 第54回 船橋市地域公共交通活性化協議会 会議録

日 時：令和3年11月9日（火）

10:00～11:00

場 所：船橋市役所11階 大会議室

出席者：別添名簿参照

事務局	事務局連絡
	1. 開 会
	2. 議事及び報告
議 長	<p>ただいまから、第54回船橋市地域公共交通活性化協議会を開催いたします。本日はご多忙にもかかわらず、ご出席いただきありがとうございます。久しぶりの対面の会議ということではございますが、普段の協議会とまた違う感じで若干ありますけれども、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>今回の第54回協議会開催にあたりまして、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、会議を短時間で実施したいと考え、書面開催を併せてでの変則的な開催をさせていただきましたこと、ご理解頂きましてありがとうございます。</p>
事務局	事務局より説明〉【議題1】
議 長	はい。ご意見ご質問等よろしくお願いいたします。
委 員	はい。
議 長	はい、お願いします。
委 員	<p>いつも委員の皆様にお世話になっております。</p> <p>収支率が低いということは確かな事実かと思えます。それから、乗り残しが大分あるということで、できたらなるべく早くに、マイクロバス等を利用した形でぜひお願いしたい。</p> <p>もう一つ、この件につきましてはマイクロバス等を検討していくこととなりますが、道路が狭くてなかなか通行できない、採算性のとれないという様な話が以前から長くあったかと思えます。ぜひ我々の住民の皆に対し、説明会を開いていただくか、住民と市の方と連携をとりたいなという趣旨で要望出したつもりです。</p> <p>その辺りは十分ご理解いただきたいと思います。以上です。</p>
議 長	事務局お願いします。

事務局	<p>まず小型バス、マイクロバスについてですが、ポンチョ型のバスを今月中に試走し、関係各所と協議し、対策を打っていきますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>またお話し合いにつきましては、今後場を設けたいと考えておりますので、よろしくよろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>はいどうもありがとうございます。実は先ほど、11月17日でしたか、とりあえずマイクロじゃなくて、バスをちょっと走らせてみるよということを担当の方から話を聞きました。それはマイクロじゃなくて、普通のバスですか。</p>
事務局	<p>はい、小型のポンチョというバスでございまして、36人乗りの2ドアのバスでございまして。</p>
委員	<p>ということは、今走行している車両より大きくなるということですか。</p>
事務局	<p>丸山地区、八木が谷地区で走行しているバスと同規格のものを試走したいと考えております。</p>
委員	<p>わかりました。ありがとうございました。</p>
事務局	<p>お願いではありますが、地元の皆様にも試走を見て頂きたいと思っております。ルート内で一番狭いところは拡幅し、待避所替わりにもなると思っています。また使い勝手も良くなると考えてはおりますが、やはり狭い箇所も多く、どこがネックになっているのか、試走時にわかると思っています。</p> <p>地元の方にもお声をかけますので、試走のときには一緒になってみていただきたいとおもいます。よろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>地区のどのあたりまでに声をかけるつもりですか。11月17日と直近の話ですので、教えていただきたい。地元の中でも利用していたり、発言するような方集めたほうが、意見も多くでると思います。</p>
事務局	<p>地区の代表の方と日程を調整しておりましたので、大丈夫かと思っております。</p>
委員	<p>ありがとうございます。</p>
議長	<p>はい。ありがとうございます。他にご意見ご質問ある方いらっしゃいますか。</p>
委員	<p>よろしいですか。</p>
議長	<p>お願いします</p>
委員	<p>今回、今報告ありました例外規定の適用に関しましては、こういった状況下で</p>

	<p>すので理解できるわけではありませんが、フローチャートについて、このままいきますというのは、運行計画が赤字のまま、つまり50%を下回った状態で継続運行するということが、事業者負担で運行を継続するという状況になると考えます。このようなところで、50%を下回ったところも一緒に補助金とすることができなかった理由をご説明願いたいとおもいます。</p>
議 長	<p>事務局お願いします。</p>
事務局	<p>一緒にできなかった理由としましては、別の方法にて下回ったところへの手当を行うことを考えております。現在、作業は進行中であり、着々と進めております。ですので、全く手当するつもりはない、という考えではございません。</p>
委 員	<p>ということは、今回具体的には示されてはいないけれども、そういったところも検討も進めており、近いうちに何かしら示されるような状況にいるというような認識でよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>はい。その通りでございます。</p>
委 員	<p>ありがとうございます。</p>
議 長	<p>私からも質問があります。資料では収支率と利用者数が載っておりますが、どれくらいの人数が乗れば50%に届くのでしょうか。</p>
事務局	<p>田喜野井線ですと、平日、休日合計して219人利用することで50%に届きます。また、速報値では宣言明けの10月としては229人となっており、50%に届いています。今後のコロナによる感染者の動向にもよりますが、どんどん回復するような傾向にあるのかなと思っております。八木が谷線は、1日あたり216人が50%を超えるところでして、10月の速報値でいうと268人と、かなり大幅に超えているような感じです。こちらの数字が実際に乗っているものとなります。</p>
議 長	<p>資料中の八木が谷線では248人と記載があり、48.3%でしかないとありますが、それはどういうことですか。資料の6ページによると、4月から9月までは1日248人乗っていて、収支率が48.3%</p> <p>%となっていて248人では足りないのではと思ったのですが、そうではないのですか。</p>
事務局	<p>収支の話になると最後の計算で出てくる場所ですが、あとはかなり経費に占める割合が大きいので、そのところで、ちょっとでもふえると利益が100%を超えるというところもあります。</p>

議 長	イメージがわかりません。
事務局	八木が谷のほうですか。
議 長	いえ、どちらも先ほどは田喜野井が219人と仰っていて、でも資料の8ページみると226人乗っていますと書いてあるので、上回っているのかとも捉えられるのでわかりづらいです。
事務局	はい。田喜野井については本当にあと、10何人とか20人とかって乗ってくれば、50%超えるかと思います。ただ、朝乗り残し等が発生しているのも実情なので、平日の空いているところに乗っていただければなと思います。
議 長	あと10名ちょっと乗ってくればというところなのですね。
事務局	1週間でですね。
議 長	1週間でですね。なるほど、わかりました。かえって混乱させてすみません。ほかにご質問ご意見等あるかたはいらっしゃいますか。
委 員	はい
議 長	おねがいします。
委 員	今の積み残しの件は、私も以前から気になっているのですけれども、やはり朝ですよね。朝、駅までという需要かと思うのですけれども、前にも申し上げたのですけれども藤崎の交差点だったと思いますが、そこまで行けばバスがもう本当に数分おきにバスが通過していくと思うのですよね。 ですからそこまで行って乗り換えてもらって、あとは折り返して頻度よく田喜野井のほうまでまわれば、積み残しはなくなると思います。 ですので、大きいバスを入れるというのも一つの案ではありますけれども、それは危ないのであれば、そういうことで折り返しができるかどうかというところが肝心なところでありますが、もしかしたらワゴン車であれば、ちょっと路地を入れて回転してくることが可能かなと思いますので、朝だけとかでもそういうことを検討いただければと思っております。よろしくお願ひします。
事務局	貴重な意見ありがとうございます。もしこの小型バスの運行で支障があって導入が遅れることがございましたら、先生からいただいた意見を何とかものにできないかと、地域の皆さんと話し合っていきたいと思います。
議 長	はい。ありがとうございます。他にございますか。

委員	よろしいですか。
議長	はい。お願いします。
委員	<p>大変お世話になっております。私からは3点ほど確認をさせていただければと思っていますので、よろしくをお願いします。</p> <p>まず一点目は事務局のはじめの説明のところ、本日の会議資料で委員あてに、船号発第39号令和3年11月5日付けの会長からの議決結果について報告が書面で出されております。二つとも、バス協会の関係ではないですが、記にある第一号議案第二号議案それぞれについて議決されたところのご報告で特にその議決の際に、通常対面であればどのぐらいの方が出席されて、どのぐらいの方が賛成だとか、反対意見はどういうのがあったとか、いわゆるその議決に際しても、考慮すべき事項があったのかどうかという部分は委員として、この1号2号とも全ての委員から全部賛成で集まったということであれば結構なのですが、そうした議決の際に、何か補足する情報があれば、また別途後日に書類でいただけるということであればその旨言っていただければいいのですが、もし補足する情報があれば口頭でこの場で教えていただければと、本日の会議の、これから承認するときの参考になりますので、まず一点はよろしく願いできればと思っております。</p> <p>それから2点目のお話でございます。公共交通不便地域解消事業の実施状況等今後フローチャートがあって、令和4年度の話も少し触れておりますので、ご確認をさせていただければと思います。先般も、千葉県のバス協会から船橋市長様に、現在、新型コロナウイルスの感染症の影響によりまして、船橋市内の地域公共交通を支える、この交通不便地域の事業と別途のバス協会の民営のバス事業者が、路線バスとして運行している訳でございます。本日の交通不便地域解消事業の実施いわゆるその理想乗降者数の紹介がありましたが、この3路線バスはですね、新型コロナウイルスのやはり密にならないとかですね、公共交通として運行継続してございます。そういう意味で人件費等も全て要しながらですね、支出しながら運行しております、その一方で外出の自粛等で利用者はですね本当に激減しております、今までのですね、そうした中で、赤字運行について累積して、いわゆる債務といたしますか、それが累積してございます。そういう意味でご支援をお願いしているところでございます。</p> <p>実はこうした新型コロナウイルス緊急事態宣言も解除されて、徐々に戻ってきてはいますが、こうした累積赤字まで全く解消されてない状況にあると。これは市内の事業者さんも同じ状況にございまして、そういう中で、交通不便地域解消事業の3地域でございます、田喜野井地区、八木が谷地区あと丸山地区。今後いろいろとご支援をお願いしておりますが、バス事業者は民営事業者ですので、経営が大変厳しい中でも、市民の足を確保するというのがやっぱり乗合バス事業の使命ですので、そういう考えでいくと、若干のなりとも令和4年度あるいは3年度中に始めるかどうかは、関係各社の経営判断になりますが、4年度までこのようにフローチャートに書かれているということは、今後経営状況によってはバスの</p>

	<p>輸送サービスの変更、路線の本数の改正も変更とか、路線の二つを合わせて運行する等々の、緊急、危機的な状況を回避するために経営判断として行う場合があります。</p> <p>そうした場合に、現在のこの3地域の交通不便地域より他にも、こうした地域が発生する可能性のないわけではないというところで、こうしたフローチャートの中にはこの3地域が限定的に今後もあるということですが、今後市内の交通不便地域の取り扱いについて、各事業者がそれぞれその都度の経営判断によって申し出るような、任意に随時申し入れて調整は開始するのか。この事業についてはやはり市の事業ですので、議会にも報告があるでしょうから、ある程度の時期に船橋市の方から、乗合バス事業者の方にお声がけをさせていただくのかどうか。何かそうした現在の3地域のフローチャートのように市の中のバス事業の全体のお考えになっている部分があれば、お示しをいただければありがたいと思っております。</p> <p>最後の3点目は、フローチャートは承認事項ではありますが、令和2年度令和3年度は災害その他やむを得ない事情ということで、例外と言われるわけですが、これ参考として伺いたいのは、この要領では2年連続すると廃止の判断に持っていくということなのですが、例えば令和3年度は赤字で50%以下、令和4年度も50%以下のときは2年連続としてみなすのかどうか、それとも2年度3年度との間に2年適用除外が入ったので、これまでの取り扱いは今までの元年度でのデータはリセットして考慮しないといけないと思います。4年度からのデータで今後はやっていくのか、この辺の取り扱いについて、参考としてお示しをいただければと思います。</p> <p>以上3点、よろしくお願いたします。</p>
議 長	事務局お願いします
事務局	事務局でございます。1点目の署名開催させていただいた議決内容ですが、全ての方に賛成をいただいております。
	<p>2点目の、もし既成の路線バスの路線がなくなった場合はどうなるか、についてですが、その後そこが新たな交通不便地域というような位置づけになってくると思いますが、今でも交通不便地域を9つ抱えていて、3地区しか手当てできていないという中で新たな1地区というような位置づけになってきますので、その中についてはどのような対応ができるのかっていうのは、検討していくような事項に加えていかなければならないのかと思っております。</p>
	<p>3点目についてですが、元年度に50%割っており、2年度3年度が50%を上回っていて、4年目にまた50%割った場合のようなケースでの取り扱いとなりますが、元年度の50%を割ったのはリセットすると考えています。あくまでも4年度が初年度っていうことで、もし仮に5年度が50%割った場合には、運航継続についての取り扱いというのを図っていきたくて考えております。以上です。</p>

委員	<p>ご説明で1点目と3点目は理解いたしました。ありがとうございました。</p> <p>2点目について、私の方で非常にお伺いできればと思ったのが、今後船橋市内の民営バス路線事業者がいろいろと路線の改廃の考えとか、いろんなその經常の判断による変更をしようとする前に、その部分については各々がどのようなタイミングで、また各々の会社において実施していこうと決まってから、市の方に各々の会社が別々に行くのか、あるいは、先日バス部会協議会というのを、この協議会の下機関として、お開きになっておりますが、そうしたバス部会協議会の中である程度調整しながら決めていくのか。</p> <p>今の回答では、決まってから経営判断としてどうしようもないです、というところで、それから対象事業としまししょうか、というように聞こえましたが、事前にそういう調整をするのかどうか、これについて重ねてお話をいただければと思っております。よろしく願います。</p>
事務局	<p>事務局です。今までのダイヤ改正を行うだとか、ルートの変更とかってあるときに事前にご相談いただいて、市としても見返しながら、そういうところに会社の中でも決めていただいているのかなと思っておりますので、今までのような感じで相談いただければなと思っております。その辺りは会社の方針としてはあるというものですけども、よろしく願いたいと思っております。</p> <p>また、先ほど委員の方からご質問がありました各社の経営状況とかもその状況を細かくとらえることが必要だと思っておりますので。例えばワーキンググループとかの協議会を踏まえてですね、各社の状況等の意見を聴取する場を設ける必要があると思っておりますので検討してまいります。以上です。</p>
議長	<p>買い言葉売り言葉みたいにもなっていますが、何のために部会とかワーキンググループを作ったかっていうと、別に元々そのタイミングでできなかったからということだけではなくて、色んなその全体でこういう議論するといろんな会社や業界の方がいる中でなかなか総論的な議論になってしまうところがあるので、やっぱりその業種ごとにきめ細かいような状況をお伺いするとか。そうした事を話して頂くために部会というものを設けさせていただいたとこありますので、そこでプロセスが決まってくるものはありませんが、やはり部会だとかそういうところでお話を聞かせていただきながら考えるというようなやり方の方が、よろしいと思っておりますので、こちらの仕組みについてはまた考えさせてください。</p>
委員	<p>わかりました。ありがとうございました。</p>
議長	<p>ありがとうございます。他にありますか。大丈夫ですか。</p>
委員	<p>よろしいですか。</p>
議長	<p>おねがいします。</p>

<p>委員</p>	<p>先ほどのでました、第53回の公共交通活性化協議会の中で第1号議案が可決されているということで、ちょっと話出ましたですけども、私どもとしましては、市への提出についてというのが、今後計画の策定スケジュールを考えたときに、このタイミングでは必要だろうということで賛成をさせていただきましたが、内容そのものにつきましては、市の中で今後パブコメをする前に調整するのにあわせて、各事業者とも調整を引き続きちょっとお願いしたいということで、電話ですが事務局にはお話し申し上げました。</p> <p>というのも、もともと素案の中に入ってなかったもの、素案のときにオンラインでこの会議ありましたですけど、そういう中で少しアフターコロナを見据えた計画の策定が必要なのではないかという意見も出まして。恐らくそれを受けての内容だと思いますが、新たなものが入っているということと、あとは新しいサービスですとか、路線ですとか、実際の各社の営業政策に関する内容が入っているというところでして、常にバスだけではなく交通事業者については非常に厳しい局面が続いております。特に一般路線バスについては平時で運行していて収入の2%から5%がやっと利益であるというところなんです。今現在でも、20%を超える減収が続いていると、当社でも実際国からの支援で借入れはさせていただいておりますが、この状況がまだ続いていくでしょうから、そうすると返済能力を考えた借入れを考えていかなければいけません。</p> <p>つまりおのずと各事業者の体力の面での検証も必要になってまいります。ですので計画も絵にかいた餅ではしょうがないので、もう少し最終的な目指す姿を描きつつ、長期では何をやるのか中期ではなにをやるのか、あとは短期ではなにをやるのかということで、もう少し具体的に、特に短期については、実現可能なのか、あるいは公共交通の維持のためにまず緊急的に何をしなければいけないのかという観点でもう少し調整させていただければと思っております。以上、発言させていただきました。</p>
<p>議長</p>	<p>そういうことでいいですね。</p>
<p>事務局</p>	<p>はい</p>
<p>議長</p>	<p>はい。他にご意見ご質問等ある方いらっしゃいますか。</p>
<p>議長</p>	<p>それでは一度ご意見ご質問を締め切ります。それではお諮りいたします。令和3年度の公共交通不便地域解消事業の実施事案について、事務局の提案のとおり、令和2年度および令和3年度は、天災その他やむを得ない事情により例外的に運行継続基準の対象外とすること、また、令和4年度も運行継続することについてご異議ありませんでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>異議なし</p>

議 長	<p>はいありがとうございます、それでは3地区とも令和4年度も引き続き運行継続することといたします。どうもありがとうございます。</p> <p>それでは二つ目の議案ですが、(仮称)船橋地域公共交通計画案について事務局より説明願います。</p>
議 長	<p>ありがとうございます。要はこうやって進めますよって話ですね。</p> <p>何かこれは意見を言う余地というか、どんなことを審議すればいいのか。このとおり坦々とすればいいということで、それをお願いしますということではないわけですか。</p>
事務局	はい
議 長	<p>すみません、諮らなければならないということですので、まず中身について、今後の進め方ということでございますけれども、皆様から何かご質問等ありますでしょうか。</p>
委 員	よろしいですか
議 長	よろしく願います
委 員	<p>事務局の方にお伺いたいのですが、こういったコンサルを使った業務を行っていくなかで、作業工数の管理だとか、もちろんそういったことはされていますよね。どれくらいの作業にどれくらいの工数がかかり金額が発生するだとか、たぶんされてらっしゃるのだと思うのですが、しっかりと見合った内容なのかを管理してやっていただければなと思います。先ほども、あえて私は申し上げなかったですが、バス事業者は大変厳しい状態でございますので、もちろん、様々なご支援は頂きたいところではあるのですが、他にも業者の立場からすると様々なやらなければならないことがあるなか、ある程度限定されることは致し方ないとは承知しております。非常に切迫しているというのが現状なのです。そういった中、公共交通会議の中で、こういったほかの業務を行っていくなかで、もちろん我々事業者も努力しますし、他の係る方々も併せて、昨今の公共交通を取り巻く経常の厳しさも、ご理解していただいて、工夫すべきこと、見直すべき余地があるものについてはしっかりと見直して頂きたいとおもいますので、それぞれの成果物に対して、どれくらいの作業の工数をかけてしっかりと管理して、必要とあらば修正していく、そういったところを継続的にやっていただけたらと思います。質問といいますか、意見です。</p>
議 長	ありがとうございます。ほかにありますか。
委 員	よろしいですか。

議 長	お願いいたします。
委 員	<p>恐れ入ります。今回は今の議題の作成業務の実施計画ということで、資料1の2ページで、いまスライドでもでておりますので、業務の流れというのは八千代エンジニアリングから船橋市の方にご提出があって、これは船橋市としてのこうした流れで進めていくということが、各委員にご提案があったということで、市の方も考えてこれから行う流れだと、そのように承ってお願いをしたいと思っております。</p> <p>今年度の検討内容というのがちょうど今画面にも出ていますが、先ほど本協議会の副会長からのお話がありました通り、既に昨年度までの検討内容に基づく素案というのは、各委員にも意見照会があって、内容についてはまだ各委員の中です、調整情報がまだあるのではないかと、というところで事務局のほうでは、そういう部分については取り組んでいくというところがあります。</p> <p>今拝見しているなかで、(1)素案修正案の整理についてというのがありまして、協議会の開催審査の(6)であると。本日の協議会というのは11月なのですが、本日の協議からのこの議案というのは(6)には当たらないのではないかと私は思っています。</p> <p>ぜひ、短期的にできることとできないこととか、中期的に長期的にやはり内容についてバス協会の方にも調整をする時間が必要ですので、そのうえで、船橋市の今後の重要な計画ですので、より良いものとするために、ある程度ここで調整された内容を一度協議会にお諮りしていただいて利用する市民の方にも、内容についてやはりご意見はあるでしょうから、そういう場合は必要ではないかと思っております。</p> <p>その上で、ここにパブリックコメントの支援等(2)というのがありますが、ある程度パブリックコメントというのは、もうこれでいきます、という最終的なものとなってくるので計画書原稿の作成で協議会支援というのが(6)でふたつありますが、パブリックコメントを急ぐあまり内容の調整はあまり図られないのではないかという気がいたしますので、改めて八千代エンジニアリングの提案を受けて、今後の話ですので、ぜひもう少し詳細な協議会開催と事業者との調整とか、あといつぐらいに関係者との調整があるのか、という部分で協議会の方にお諮りいただいた上で、進めていただくようお願いいたします。私からは以上です。</p>
議 長	<p>はい。ありがとうございます。</p> <p>今の委員の指摘について、事務局からおねがいします。</p>
事務局	<p>はい、事務局でございます。(3)の今後の取り組みに向けた公共交通事業者関係者等の調整って、ここがすごく大切になってくると思いますので、ワーキング会議を活用しながら調整を図っていきたいと考えております。</p>
議 長	<p>計画策定は年度末にあるとしたときに、どういうタイムスケジュールで何月ぐら</p>

	<p>いかというのを委員の皆様にお示しすることになるのですよね。</p>
事務局	<p>そうですね。ざっくりしたスケジュールですが、協議会の方に計画の策定というのをお願いしているのは、事業者とかの意見を取り入れた計画にしたいという考えのもとに協議会の方に依頼をかけていますので、この協議会の中でまとめていただいた意見をもとに市の実際にやる部分を調整を図りながら、その後にパブリックコメントをとという形が出来上がってから、パブコメになるのかと考えておりますので、そのように進めさせていただきたいと思っております。</p>
委員	<p>よろしいですか。</p>
議長	<p>はいお願いします。</p>
委員	<p>すいません、重ねての質問です。今のご答弁でわかったのですが、確認のため、誤解があったらいけないのでお願いします。私は今の事務局のご回答ですと、年度内に、船橋市の公共交通活性化協議会を対面で最低でもあと2回やっていただけると理解しているのですがそこはそういうふうに理解してよろしいのかどうか。よろしくをお願いします。</p>
事務局	<p>協議会を2回開催できるのかどうかというのはまだ調整が必要かなと思います。最後1回は必ず協議会にお諮りいただき、承認をいただきたいと考えています。ワーキング会議の中で調整がつかなかった場合には協議会開催ということも想定されるかと考えます。</p>
議長	<p>他にご意見ご質問ある方はいらっしゃいますか。 大枠こういう感じで今後進めていくのだということについて、お諮りをさせていただきたいと思います。 今年度の業務の業務計画書の内容についてはこういう形で承認することとしてよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>異議なし</p>
議長	<p>はい。ありがとうございます。それでは今年度業務の業務計画書の内容については承認することにいたします。ありがとうございます。 他にご意見ご質問ある方はいらっしゃいますか。</p>
委員	<p>はい。</p>
議長	<p>お願いします。</p>
委員	<p>バス・タクシーの利用促進ということで何回かプレスリリースで、バス・タク</p>

	<p>シーの事業者が、国からのモータリゼーションの進展とか、人口減少などの影響で、輸送人員が減少している中で、新型コロナウイルスが追い打ちになっており、バス・タクシーの経営状況は極めて厳しい状況に立たされております。</p> <p>資料の中で私どもがまとめている、最新で令和7月まで情報で、資料中には旅客自動車運送事業と書いてあるところなのですが、ここにバス・タクシーの状況は書かれております。令和元年を100%にしますと乗り合いバスで80%、高速バスにいたっては25%ということでタクシーについては70%ということで非常に厳しい状況が続いております。</p> <p>そのような中で、国、それから千葉県、船橋市から、補助金等の支援等をいただいているところなのですが、地方自治体の財政状況が厳しいのは当然でありまして、その中で、一番大事なのがバス・タクシー、公共交通機関を市民の方々が利用することで、公共交通機関というのは成り立っていますのでご利用のお願いということで本日はお願いをしているところでございます。</p> <p>移動というのは、それ自体が目的ではございませんが、移動することができなければその先の目的を達成するっていうことは難しいことになってきますので、将来にわたって、市民の皆さんは公共交通機関を利用するためには今まさに維持していかないといけないというところで社会全体として支えていただくということで、緊急事態宣言も解除されましたので、マイカーだとか、そういった方たちが多くの中で、公共交通機関を利用いただきまして、支えていただければと考えております。</p> <p>交通事業者の方では、新型コロナウイルス感染拡大防止対策としまして、マスクの着用それから定期的な車内の消毒、それから換気などの対策を行っておりますので安心してご利用いただけますので、利用者の皆様におかれましても、マスクの着用と、コロナ対策を万全にさせていただいて、安心してご利用いただければと思いますので、今日は市民の皆さまにご利用のお願いと、公共交通機関を維持していくためのご利用お願いをさせていただければと思います。ご協力の方よろしくお願いたします。ありがとうございました。</p>
議 長	<p>ありがとうございます。ここに出ている方々の大半は交通事業者の方で、むしろ使ってくださいというような立場であります。市としても公共交通を使っていただくような形で、元々この計画自体もそうですし、やっていきたいと思っておりますが、これも国の方でも例えば国民全体にどうか、それに対してより公共交通を使って欲しいとかそういうことについて、何か運動ではないですが、そのようなことを行っていくイメージはありますか。</p>
国	<p>失礼しました。運動はないですが、ここにありますプレス資料で、定期的に発表させていただいております。一般の新聞の方でプレスの方なんかも織り込みさせていただいたりしております。またこういった公共交通会議とか、市民の方も市民の方が参加されるような会議の中で、PRをさせていただいているところで本日のちょっとその一環であると発言をさせていただきました。ありがとうございました。引き続きよろしくお願いたします。</p>

<p>議 長</p>	<p>はい。それでは、以上をもちまして第 54 回船橋市地域公共交通活性化協議会を閉会いたします。皆様本日はどうも本当ありがとうございました。</p>
------------	---